

早稲田大学 2022年度
法学部 英語

I

(1)

1. B

A whole other culture of desirability had been playing out just above and beyond my awareness. や、I learned what was beautiful. By high school, I knew that I was not it. から、筆者は属するコミュニティにおいて「美しい」とされるものに自分が属していないことに疎外感を感じている。Bが適切。

2. B

3. C

4. C

5. B

6. C

7. B

(2)

1. D

2. C

3. A

4. E

(3)

C

(4)

1. D

2. A

3. B

4. B

5. A

II

(1)

1. B

第2段落の冒頭にthe pioneers of research into bird behavior assumed that it(=鳥が思考力を持つということ) was largely innate. とあるが、この研究でその反例が見つかったのである。したがって、Bが適切。birds' actions were learned from othersという説は、前提として考えられていたのではなく、新たに分かったことなので、Dは不適。

2. D

3. A

(2)

B, C, F, I

A: 第4段落で述べられている。

B: 第7段落で、Nest-building appears even in birds reared in captivity and in isolation, と反対のことが述べられている。

C: 第5段落で述べられている、外敵の接近やその種類を伝える機能を果たすのは、songでなくcallである。

D: 第10段落で、So far, magpies are the only birds shown to have this capacity と述べられている。

E: 第6段落で、they produce babble rather than the appropriate song. と述べられている。

F: この文章では、鳥の知能が象やイルカと同等以上である、という一般的な主張はしていない。象とイルカは、あくまである種の鳥が鏡を認識できるという現象を説明するために上げられた例にすぎず、またそのような能力を持つ鳥は1種類しか知られていない。

G: 第2段落で述べられている。

H: 第9段落で述べられている。

早稲田大学 2022年度
法学部 英語

I: 食べ物を手に入れるために道具を使う鳥については第8段落で述べられているが、あくまでいくつかの例を並列したにすぎず、ある鳥がほかの鳥のそのような行動を真似するといったことは書かれていない。

(3)

1. E
2. C
3. B

(4)

1. C
2. E
3. A

(5)

1. C
2. D
3. B

III

1. D
2. E
3. C
4. B
5. F
6. A
7. G

IV

1. D
2. C
3. D
4. E
5. C

V

1. D
2. A
3. C
4. A

VI

1. Two-thirds of the global population will have problems accessing fresh water
2. The required electricity accounts for up to half of

(原文:

<https://www.scientificamerican.com/article/sunlight-powers-portable-inexpensive-systems-to-produce-drinking-water/>)